

PDCAチェックシート(平成 27 年度実績評価)

事業概要							担当局	危機管理室
							担当課	危機管理課
							課長名	正代
事業名	防災訓練の実施						施策番号	
							II - 1 - (4) - ①	
事業概要	風水害、地震等の大災害時における防災体制について万全を期すため、災害に対する各種訓練を実施します。						事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	事業費	27年度当初予算額	27年度執行額	(事業費備考)	目安の金額	課長 0.20 人		(人件費備考)
		10,728 千円	千円		5,800 千円	係長 0.20 人 職員 0.20 人		

【Action】改善			
課題	H25年度の評価結果を受けての課題	防災訓練の実実施回数等については順調に推移していますが、多様化する災害の対応能力を強化するためには、今後も継続して様々な訓練を実施していく必要があります。	見直し内容
			平成27年度の防災訓練は、「土砂災害防止法」の改正、「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン」の策定及び平成26年8月の大雨等による広島市における土砂災害の教訓を踏まえ実施します。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	
	市及び市民等の災害対応能力	市における防災体制の充実、関係機関との連携、市民の防災意識の高揚及び災害対応能力の向上を図ります。			
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)		上段: 25年度実績 下段: 26年度実績	27年度目標	27年度実績(達成率)
	防災訓練参加人数 <input type="checkbox"/> 区防災訓練(直近3年度平均) 2,983+2,863+1,605 ÷ 3 = 2,484(A) <input type="checkbox"/> 市総合防災訓練(24年度実績) 450(B) <input type="checkbox"/> 避難所体験・運営訓練(26年度実績) 70(C) <input type="checkbox"/> (A)+(B)+(C) = 3,004 ≒ 3,000 (最終目標と目標年度) 3,000人(毎年度)		3,471 人	3,000 人	
	本事業の継続的な実施				
					成果の状況評価理由

活動計画	どうやって目的を達成するか	区防災訓練5回、市総合防災訓練1回、避難所体験・運営訓練1回の合計7回の訓練を実施します。(平成25年度から、1区において避難所体験・運営訓練を区防災訓練として実施。)	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)		上段: 25年度実績 下段: 26年度実績	27年度目標	27年度実績(達成率)
	防災訓練実施回数		7 回	7 回	
	上記のとおり、防災訓練を7回実施します。				
					活動の状況評価理由

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート(平成 27 年度実績評価)

事業概要						担当局	危機管理室	
						担当課	危機管理課	
						課長名	正代	
事業名	防災行政無線					施策番号		
						II - 1 - (4) - ②		
事業概要	災害時における避難勧告などの防災情報は、テレビやラジオ、ホームページ、登録制防災メール・緊急速報メール、Twitter、市民防災会の連絡網などにより市民の皆さんへ伝達しています。 今回、津波情報等を効果的に伝達するために、地域住民に一齐に通報が可能で、災害に強い情報伝達手段である同報系防災行政無線(住民に災害情報などの放送を行う防災スピーカー)の整備を行ったものです。(平成27年度以降は維持管理のみ)					事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	
コスト	事業費	27年度当初予算額	27年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長 0.05 人 係長 0.10 人 職員 0.20 人	(人件費備考)
		7,744 千円	千円			3,075 千円		

【Action】改善			
課題	H25年度の評価結果を受けての課題	同報系防災行政無線を整備し、津波情報等を地域住民に効果的に伝達する必要があります。	見直し内容
			平成26年度の整備完了に伴い、維持管理を行います。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況		
	市民	情報伝達手段の一つとして、住民に津波情報や避難勧告等の防災情報を迅速かつ的確に伝達します。	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック		
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方) 住民に津波情報や避難勧告等の防災情報を迅速かつ的確に伝達できる状態 防災行政無線を適正に維持管理することで、災害時に迅速かつ的確に情報伝達できる状態を目指します。 (最終目標と目標年度) 住民に津波情報や避難勧告等の防災情報を迅速かつ的確に伝達できる状態	上段: 25年度実績 下段: 26年度実績 27年度目標	27年度実績(達成率)	成果の状況評価理由	
		-	住民に津波情報や避難勧告等の防災情報を迅速かつ的確に伝達できる状態		

活動計画	どうやって目的を達成するか 東日本大震災を受け、屋外で他に伝達手段がなく、また予兆を掴み難く、広報する暇のない津波等突発災害の対応を第一に考え、防災スピーカーを整備しました。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明) 防災行政無線の維持管理 地域住民に津波情報を効果的に伝達することを第一に考え、適正に防災行政無線の維持管理を行います。	上段: 25年度実績 下段: 26年度実績 27年度目標	27年度実績(達成率)	活動の状況評価理由	
		-	適正に維持管理		

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート(平成 27 年度実績評価)

事業概要						担当局	危機管理室
						担当課	危機管理課
						課長名	竹光
事業名	みんな de Bousai まちづくり推進事業					施策番号	
						II - 1 - (4) - ②	
事業概要	過去の大規模災害では、自助・共助の力を向上させることが「滅災」対策を推進する上でも必要不可欠であることが証明されました。また、「北九州市地域防災計画見直し検討会」の中でも、地域コミュニティが持つ防災力＝「地域防災力」の重要性が指摘されました。これらのことから、市民が自ら「命を守りぬく」ことができる自助・共助の力を向上させるとともに、地域防災力の育成及び活性化を推進します。					事業手法	
						<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他	
コスト	事業費	27年度当初予算額	27年度執行額	(事業費備考)	目安の金額	課長 0.20 人	
		12,000 千円	千円		8,050 千円	係長 0.20 人 職員 0.50 人	
						(人件費備考)	

【Action】改善			
課題	H25年度の評価結果を受けての課題	市民が自ら「命を守りぬく」ことができる自助・共助の力を向上させる必要があります。	見直し内容
			みんな de Bousai まちづくり懇話会での議論や、車座集会における市民意見を参考にしながら、小学校区単位でモデル事業を実施します。

【Plan】計画			【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	市民	市民が自ら「命を守りぬく」ことができる自助・共助の力を向上させるとともに、地域防災力の育成及び活性化を目指します。			
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	上段: 25年度実績 下段: 26年度実績	27年度目標	27年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由
	地域ぐるみの防災ネットワークを構築した校区数	-	計7 校区 (27年度 3)		
	小学校区単位で地域ぐるみの防災ネットワークを構築した校区数を増やすことが自助・共助の力の向上につながるため指標としました。H26年度～H27年度は、モデル事業として実施します。最終目標は、各区1校区ずつ実施した校区数です。 (最終目標と目標年度)計7校区(平成27年度)				
	地域防災の新たな担い手を育成した人数	-	60 人		
地域防災の新たな担い手を増やすことが自助・共助の力の向上につながるため育成人数を指標としました。 (最終目標と目標年度)60人(平成27年度)					

活動計画	どうやって目的を達成するか 市民防災会、自治会、消防、警察という従来の地域防災関連団体等に加え、民生委員、PTA、企業、障害者、外国人、大学生等、これまで地域防災に参画する機会が少なかった新たな人、若い人を含めた「地区 Bousai 会議」を開催し、地域ぐるみの防災ネットワークを構築します。また、市内の大学生を対象に、地域で率先して防災活動を行うことができる知識と技能を持つ人材を育成するため、「みんな de Bousai 人材育成プログラム」を実施します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	上段: 25年度実績 下段: 26年度実績	27年度目標	27年度実績 (達成率)	活動の状況 評価理由
	地区 Bousai 会議の開催回数	-	15 回		
	地域ぐるみの防災ネットワークを構築するため、「みんな de Bousai まちづくりモデル事業」の中で実施する「地区 Bousai 会議」の開催回数を指標としました。				
	人材育成事業の実施回数	-	15 回		
地域防災の新たな担い手を育成するため、人材育成事業の実施回数を指標としました。					

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点